

平成 14 年度

# 大学情報化職員基礎講習会

開 催 要 項

平成 14 年 7 月 10 日（水）～ 12 日（金）

社団法人私立大学情報教育協会  
研 修 運 営 委 員 会

平成 14 年度・私情協研修等事業
-------------------

- |      |                |
|------|----------------|
| 7 月  | 大学情報化職員基礎講習会   |
| 8 月  | 学内 LAN 運用管理講習会 |
| 9 月  | 大学情報化職員研修会     |
| 10 月 | 情報センター等部門研修会   |
| 11 月 | 事務部門管理者会議      |

## 1 . 基礎講習会の目的

この講習会は、職員が担当部署で情報技術を活用して教育支援に積極的に関与し得るよう、日常業務の情報化をはじめ意思決定支援のための情報システムの構築と活用、コミュニケーションやプレゼンテーション手段としてのWebサイトの活用など、初心者を対象にテキストなどにより分かり易く講習を行い、大学改革を支える情報化の意義を理解し、大学職員の資質向上に寄与することを目的とします。

## 2 . 受講対象者

加盟大学・短期大学の職員で、教育機関の情報化に関する基礎知識の修得を希望する方、ならびに大学・短期大学において情報化推進業務に携わる新人職員を対象とします。

この講習会は初心者を対象にしておりますので、情報部門以外の職員で既に基礎知識を修得されている方は9月に業務別、テーマ別に開催される「大学情報化職員研修会」へご参加ください。

## 3 . 講習内容

大学・短期大学における情報化の動向ならびに基礎知識について、以下のテーマをテキスト等による講義形式で学習します。また、講義時間は1テーマにつき120分とし、講師は研修運営委員会委員が担当します。受講者がパソコンなどを使用する実習は行いません。

< 講習内容 > 講習内容は変更することがあります。

- 1 ) 大学を取り巻くITの変遷と動向
  - ・ ITの変遷
  - ・ 大学における情報システムの概要と役割
  - ・ 大学におけるこれからの情報システムの形態と備えるべき機能
- 2 ) ITによる教育改革と今後における情報環境整備
  - ・ e - ラーニングの実情と意義
  - ・ 教育改革への関わり方、進め方
  - ・ 情報設備の整備
  - ・ 先進事例と情報化モデル
- 3 ) ネットワークの活用と教育研究活動の高度化
  - ・ 情報、業務知識の共有化
  - ・ 情報化による教職協働のあり方
  - ・ 情報発信のあり方
- 4 ) IT活用と情報倫理
  - ・ 情報システムのセキュリティーネット犯罪防止
  - ・ コンテンツ作成と著作権・知的所有権
  - ・ 情報倫理とプライバシー
- 5 ) 大学における情報化戦略
  - ・ 全学的な情報化の進め方
  - ・ 効率的な情報システムの運用管理のあり方
  - ・ 外部資源（資金・人材・システム）の活用

## 4 . 事例紹介

大学・短期大学における今後の情報インフラ整備のあり方についての理解を深めるため、会員大学、賛助会員などによる事例紹介、技術動向の解説などを行います。

## 5．日 程

平成14年7月10日(水)～7月12日(金)

2泊3日間の合宿形式となります。

## 6．参加資格

加盟大学・短期大学の職員。

## 7．募集定員

250名程度

\*参加希望者多数の場合には、会場の都合により参加者を調整することがあります。

## 8．参加費

23,500円(税込) (宿泊費は含まれません)

## 9．開催会場および宿泊

本講習会は合宿研修のため、参加者は全員下記ホテルへ宿泊していただきます。

(原則ツインルームで部屋割りは当方で決めさせていただきます。)

### グランドホテル浜松

静岡県浜松市東伊場 1-3-1 TEL: 053-452-2111

交通：東海道新幹線「浜松駅」下車。

\*行き帰りの浜松駅よりホテルまでは送迎バスを用意いたしますので、利用下さい。

\*バスの発車時刻、集合場所等については後日連絡いたします。

\*送迎バスを利用されない場合は、タクシーを利用下さい。

宿泊費 26,000円(税込) (2泊5食、最終日の昼食代は含まれません)

\*宿泊費の支払いは、開催第1日目に参加者個人別にホテルへお支払いください。

## 10．申込方法

6月28日(金)までに、「参加申込書」を各大学で一括してとりまとめの上、下記宛にFAXもしくは郵送下さい。(参加申込者についての必要事項は必ず全員分記入して下さい。)

送付先 〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 No.1 山崎ビル 4F  
社団法人 私立大学情報教育協会事務局  
FAX: 03-3261-2798

## 11．参加者確定通知

参加者確定通知は7月に入りましたら事務連絡者宛に郵送あるいはFAXにてお送りいたします。

## 12．参加費の支払

参加費は、参加者確定通知を受領後2週間以内に、大学ごとに一括して銀行振込によりお支払い下さい。(参加費の振込先は参加者確定通知にてお知らせします。)

---

## 概 要

### . 全 体 会

#### 基調講演

#### 「社会が期待するネットワーク時代の大学とは」

大学は、教育の充実向上に向けて自学の教育理念に基づき、目標とする教育が達成されるよう常に改革に向けて努力を怠ってはならない。職員は自大学の現状、問題点と改善に向けた課題点を把握し、教育支援の立場から自らの業務が自学の理想とする教育にどのように貢献するのかを意識しながら、組織体制の変革、個々人の意識改革など、教育改革に向けて取り組むことが必要である。

大学教育の目標はつまるところ、社会が求める人材の育成、輩出である。そのためには、自学内だけに目を向けるのではなく、企業をはじめとする社会が何を大学に期待し要請しているのか絶えず把握することが求められる。

昨今、ネットワークなどの情報技術が急速に普及・発展しており、教育での活用の機会、可能性が増えてきており、画一的な教育から、学生一人一人の個性、目標、要望に応える教育が可能になりつつある。しかし、目標(社会が求める人材像)を把握していなければ、教員と協働して授業でのIT利用を効果的に進めていくことはできない。

本講演では、学外からの視点で、大学教育の問題点や教育の有り様について解説し、職員の果たすべき責務について考える機会としたい。

### . 講 義

#### 大学を取り巻くITの変遷と動向

講師:石黒 隆文 氏(青山学院大学 事務システム室係長)

本講義では、これまでの教育・研究・事務それぞれのシステムの枠組みとその課題・問題点を示し、これからの情報システムのあり方と基本的な考え方と背景となる情報通信技術の動向を、国内外の先進事例を交えて解説します。

#### [キーワード]

- ・ ITの変遷
- ・ 大学における情報システムの概要と役割
- ・ 大学におけるこれからの情報システムの形態と備えるべき機能

## ITによる教育改革と今後における情報環境整備

講師:浅見 光男 氏(東京電機大学 総合メディアセンターグループリーダー)

昨今のコンピュータやネットワークなどのIT技術の活用により、時間的、場所的制約を受けず学生がそれぞれの習熟度に応じ主体的な学習を行える環境が提供できるようになりつつある。本講義では、教員が望む授業を実現するために、職員がどのように関わっていけばよいか、また、どのように情報設備を整備すればよいか、事例を交え解説します。

[キーワード]

- ・ e - ラーニングの実情と意義
- ・ 教育改革への関わり方、進め方
- ・ 情報設備の整備
- ・ 先進事例と情報化モデル

## ネットワークの活用と教育研究活動の高度化

講師:杉町 宏 氏 (立命館大学 BKC エクステンションセンター課長)

本講義では、ネットワークの活用により教育研究を高度化することの可能性について解説するとともに、管理運営の視点から、教育研究の高度化を支援する情報システムのあり方や、教員と職員の連携など組織的な支援体制の確立など、具体例を交えて解説し、自大学における改革の有り様について考える機会にしたいと考えます。

[キーワード]

- ・ 情報、業務知識の共有化
- ・ 情報化による教職協働のあり方
- ・ 情報発信のあり方
- ・ 学外連携と支援体制(私情協の取り組み)

## IT活用と情報倫理

講師:岸田 陽一 氏(津田塾大学 情報システムサービス室長)

学内での事務、教育研究でのネットワーク利用が広がるにつれ、個人情報の管理、システムの安定運用管理が厳しく求められるようになってきています。また、教育用コンテンツの作成が進み、それが広く学外にまで公開されるようになるとコンテンツの権利関係にも十分な配慮が必要になってきます。本講義では、情報の取り扱いに関して留意すべき点を情報倫理の視点から解説します。

[キーワード]

- ・ 情報システムのセキュリティーネット犯罪防止
- ・ コンテンツ作成と著作権・知的所有権
- ・ 電子著作物の権処理事業(私情協の取り組み)
- ・ 情報倫理とプライバシー

## 大学における情報化戦略

講師: 山田 憲男 氏 (日本女子大学 企画部システム企画課長)

本講義では、大学の規模、特色に応じた情報化戦略を企画する上での考え方について、アウトソーシングや、業務標準化などによる効率的なシステム運用支援の方法を例示しながら解説します。

[キーワード]

- ・全学的な情報化の進め方
- ・効率的な情報システムの運用管理のあり方
- ・外部資源（資金・人材・システム）の活用

## 基礎講習会日程表

1日目 7月10日(水)		2日目 7月11日(木)		3日目 7月12日(金)	
7:00			朝食		朝食 チェックアウト
9:00			講義2		講義5
11:00	11:00		移動・休憩		アンケート記入
11:20	11:15		大学事例紹介		各班にて閉会
					11:45 終了予定
12:00			受付	12:00	
			昼食		
13:00			開会式 全体会	12:50	
			大学事例紹介		
14:45			移動・休憩	13:35	
			講義3		
15:00			講義1	15:35	
			休憩		
17:00			チェックイン 自由時間	15:50	
			講義4		
18:00			移動	17:50	
			夕食	18:00	
			夕食・懇親会・ フリーディスカッション		
			テーマ別ディスカッション (希望者のみ)	19:30	

